

町の歴史に親しむ 薩摩探検隊開催

1月15日、町内の歴史について理解を深める薩摩探検隊が開催されました。

今回は永野金山編で、金山にゆかりのある場所についてその歴史を学びました。

当日は90名が参加。胡麻目の坑口では「金山では自然金の盗掘盗難が発生し、坑夫が金を持ち去らないよう検査のために風呂が設置された」となどが説明されました。

その後参加者は、近くの若宮神社に移動。地区の西川國武さんが説明をおこない「神社では現在も地区の出身者の方が帰ってきて、六月灯をおこなっています。また神社の角にある石敢当は、昔は7つほどあり、悪病退散のために建てられたものといわれています。」と現在の神社の様子について話されました。

参加者は、日頃あまり見ることのない地域の遺産にふれ、昔の賑やかだった頃の金山について思いを巡らせているようでした。



▶胡麻目の坑口から中を覗き込む参加者たち

子どもたちから 元気エネルギーのプレゼント

12月2日、中津川小五年生13名がさつま園を慰問しました。

児童は、さつま園の施設について説明を受けた後、みんなで園の舞台上に登場。自己紹介の後、歌と縦笛の演奏を披露しました。また入所者52名に宛てて製作した絵手紙と学習農園で栽培したもち米をプレゼントし、肩たたきや入所者の皆さんとお互いに話をして交流を深めました。

これに答えて入所者は、みんなでラバウル小唄、鹿児島小原節などを歌いました。

最後に児童を代表して半崎未緒さんが、「入所者の皆さんと楽しくお話できて楽しかった。」とあいさつすると入所者の津田テルさんは「自分たちなりの歌でしたがどうでしたか？またいつでも遊びに来てください。」と話されました。

短い時間でしたが、入所者もたいへん楽しかったようでした。



▶入所者と楽しく話をする児童

宝くじ助成金で街路灯整備

町では平成16年度宝くじの助成金を活用して、永野吉川地区に街路灯を設置しました。これは、県道の道路拡幅工事に合わせておこなわれていたもので、前回の丁町地区に引き続き、延長約160mの歩道に梅をかたどった飾りのついた丸型の街路灯8基が、事業費250万円をかけ設置整備されました。

また、押しボタン式信号機も設置され地域の方や、児童



▶今回設置された街路灯

の防犯、交通安全に大きな効果が期待されます。

がありました。おわつたら、おいもたいかいやもちつきがありました。わたしも、もちつきをしました。きぬがおもたかったです。だけど、ほめられたからうれしかったです。また、したいな。

人けんしゅう会

永野小一年 大牟田実穂さん
人けんしゅう会で、一年生から六年生まで、はっぴょうをしました。わたしたち一年生のはっぴょうするとき、どきどきしました。足もがたがたしました。一年生はわたしたちをよぶとき、さんをつけてよんでほしいとおねがいをしました。みんなが、さんをつけてよんでくれるといいな。

かみしばい

永野小一年 北迫 佳悟君
きょうは、よみかかせの日でした。かえでさんのおかあさんが、本ではなくて、かみしばいをしてくれたので、ぼくはうれしかったです。そのかみしばいで、あさごはんをちゃんとたべないといけないということがわかりました。